

防災への意識改革 vol.269

☑ 防災行政無線情報は電話でも 防災行政無線が聞き取りにくい場合は、☎(48)7030で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

1.17は忘れない！ 阪神・淡路大震災から21年

『阪神・淡路大震災』から1月17日で21年を迎えます。
震災で亡くなられた方々を追悼するとともに、発生が危惧される南海トラフ巨大地震の脅威に、阪神・淡路大震災の教訓を生かしましょう。



地震の概要

- ▽平成7（1995）年1月17日 午前5時46分発生
- ▽マグニチュード7.3
- ▽最大震度7
- ▽内陸・都市直下型地震
- ▽死者・行方不明者6千人以上
負傷者4万人以上
- ▽住家の全半壊24万棟以上
全半焼7千棟以上
- ▽死者の8割以上が家屋等の倒壊による圧死
約1割が焼死
- ▽負傷原因の4割以上が家具類の転倒・落下
- ▽電気、水道、ガス、道路、鉄道などライフラインが壊滅
- ▽古い木造住宅の密集地域で、大規模な倒壊、火災が発生し、一部地域では大火災が多発
- ▽要救助者の約8割が近隣住民により救出
- ▽多数の住民が避難所生活を余儀なくされる

災害への備え

- ▽ご家族の命を守るために住宅の耐震性を確保しましょう。
- ①家具は壁に固定

- ②窓ガラス飛散防止フィルムの貼り付け
- ③住宅の耐震診断、耐震改修
- ▽飲料水・食料などを備蓄しましょう。また、ラジオ、懐中電灯、衣類なども準備しましょう。
- ▽もしもの場合の連絡方法、避難場所を家族で確認しておきましょう。
- ▽自主防災活動や町内会行事に積極的に参加し、地域の皆さんとの交流を深めましょう。

防災マップは役立つ情報がいっぱい

平成26年12月に新しい「阿久比町防災マップ」を町内各家庭に配布しています。自分の住んでいる地域の「避難所」や「避難場所」を確認してみてください。

「浸水予想図」「土砂災害警戒区域」や「家の中の安全確保」「災害時の非常持ち出し品と備蓄品」の詳しい内容など、もしもの時に命を守るための情報が載っています。

